

I 計画の基本的事項

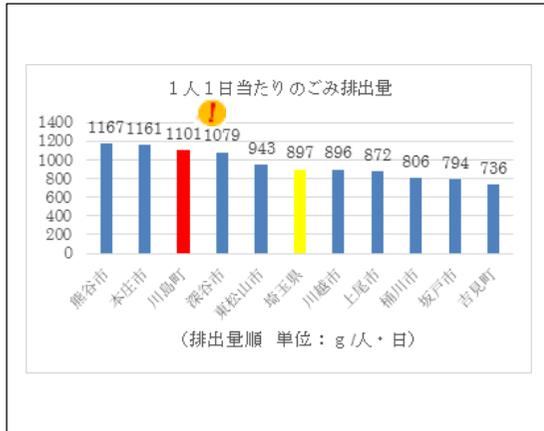
趣旨：町民・事業者・町がそれぞれの立場で、現実的かつ具体的なごみの減量化を目指す。町内のプロジェクトチームで検討し、川島町が策定。

位置づけ：『輪中の郷 環境総合計画《一般廃棄物処理基本計画》』を踏まえて策定。

対象：生活系・事業系ともに排出量の多い可燃ごみを対象とする。

計画期間：2017年度（平成29年度）～2019年度（平成31年度）の3年間

II ごみ処理の現状と課題



現状

・2014年度（平成26年度）の町民1人1日あたりのごみ総排出量は1,101gで、埼玉県内ワースト第3位。近年の傾向は変わらず、常にワーストの上位に位置している。

・2015年（平成27年）12月に加入した埼玉中部資源循環組合で、2022年度（平成34年度）を目途に新たなごみ処理施設を建設予定。

・新施設稼働後は、搬入量割が負担金の算出根拠の一部となる。

課題

①生活系ごみの減量

家庭から出るごみ、特に紙ごみの分別の徹底を図る必要がある。

②事業系ごみの減量

聞き取り調査や具体的な減量化の取組を図る必要がある。

③ごみ分別の徹底と資源化の推進

川島町の分別ルールさらなる徹底と再生利用を推進する必要がある。

IV 推進体制

計画の周知：広報かわじまやホームページをはじめ、各種情報媒体で計画の周知を図る。

計画の進行管理：PDCAサイクルを踏まえ、継続的に改善を図っていく。

III 計画

基本理念：地域における循環型社会の形成を推進し、豊かな自然環境と安全・快適な生活環境を未来に伝えます。※

基本方針：ごみの減量化と資源化の推進※

※『環境総合計画《一般廃棄物処理基本計画》』（平成27年3月川島町）に準じる。

減量目標

可燃ごみ：2019年度（平成31年度）までに2016年度（平成28年度）の6,093tの20%を減量する。

目標年度	目標量 (t)	減量率 (%)	可燃ごみ量 (t)
2016			6,093
2017	▲609	▲10	5,484
2018	▲366	▲6	5,118
2019	▲244	▲4	4,874
合計	▲1,219	▲20	▲1,219

資源化率：2019年度（平成31年度）までに35%（h28：32.39%）まで向上させる。

2017年度 33%

2018年度 34%

2019年度 35%

具体的施策（抜粋）

町民

- ・ごみ減量化地区別説明会の全地区開催（2018.1～9）
- ・各種媒体を活用した積極的な啓発
- ・クリーンかわじまサポーターの委嘱（行政区の班長を充てる）
- ・PR動画の作成（川島町ごみすっきり応援団 田園戦士かわじまんによる短編動画）
- ・ごみ減量化シンポジウム（仮称）の開催（2018.秋を予定）

事業者

- ・排出管理・指導の徹底（展開検査、聞き取り調査等）
- ・事業系ごみ処理手数料の改定（近隣自治体との均衡を図る）
- ・事業系ごみ減量化の手引き作成（現状や町の取組、事業所の取組などを手引き化）

職員

- ・4R運動の推進（推進員の設置、ごみ減量化意識の醸成）
- ・文書の溶解処理の実施（定期的実施し、紙ごみの減量を図る）

町民・事業者・町の協働事業

- ・協定の締結の検討